

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



17.8.24
週報第 653 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第33週 (8/14~8/20) (32週)	
	発生数 (人)	前週との比較
流行性耳下腺炎	0 (0)	→
ヘルパンギーナ	8 (6)	↗
感染性胃腸炎	14 (26)	↘
溶連菌咽頭炎	5 (3)	↗
咽頭結膜熱	2 (3)	↘
水痘	2 (2)	→
RSウイルス	27 (9)	↗
手足口病	10 (18)	↘
突発性発疹	4 (3)	↗

(参考) 秋田県の状況 第32週 (8/7~8/13)
<全県の発生状況>
1位：手足口病 (全県で前週より11%減少)
2位：感染性胃腸炎 (全県で前週より12%減少)
3位：ヘルパンギーナ (全県で前週より52%減少)
4位：RSウイルス感染症
5位：咽頭結膜熱
県内 警報・注意報
警報：手足口病 (大館・由利本荘・湯沢)
警報：ヘルパンギーナ (大館)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

RSウイルスが市内で増加しています!

風邪などの呼吸器感染症の原因となる乳幼児が最も感染しやすい「ウイルス」のひとつです。例年は、秋から春(冬にピーク)に流行しますが、既に感染者が増えています。

<症状>

4~5日の潜伏期を経過し、通常38~39℃の発熱や鼻水、咳などの風邪症状が出現して、2週間くらいで軽快します。しかし、症状が悪化すると細気管支炎や肺炎を引き起こすことがあります。予防薬やワクチンはありません。手洗いやうがい最大の予防方法です。

横手地域・学校欠席者情報 (8/21)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	おたふくかぜ	咽頭結膜熱	その他
施設 (数)									
保育所・幼稚園 (35)				1	1	2	1	3	16
小学校 (22)									
中学校 (8)									
高校 (7)									
特別支援学校									

夏休み